

学力向上に向けた船堀小学校の取り組み

基礎的な学力の定着と思考力・判断力・表現力を伸すための授業改善

- 漢字ミニテストや算数の確認問題や復習問題に繰り返し取り組む時間をつくっています。
- 東京ベーシックドリルを活用し、前学年の学習内容に定期的に復習する機会を設定しています
- 放課後補習教室では、個々の実態や苦手等に応じて、算数の復習問題に少人数指導で取り組んでいます。
- 一人ひとりの実態に応じた教材を用意したり、デジタル教材を活用したりして、どの児童にも「分かる」授業の展開を目指しています。
- 自分の考えを友達に伝えたり整理してまとめたりする時間を授業内で多く確保しています。

ミライシードを活用したタブレット学習

- ドリルパークを用いて、各教科の復習や予習問題に取り組みます。
ドリルパークは、個々の苦手な単元の復習が手軽に繰り返し取り組める点が魅力です。
高学年では、自己の得意や苦手に鑑みて、自分で問題を選択しながら取り組めると理想的です。

スタディウィークの実施

- 年に三回、期間を設定して、子供たちに学習を呼びかけています。
- 高学年になるにつれ、自分で課題を決めて取り組めるように声を掛けています。

よむ YOMU ワークシートの取り組み

よむ YOMUワークシートとは、読売新聞がつくっている新聞記事を読んで設問に取り組むものです。隔週で朝の時間に取り組んでいます。

時事的な文章や社会課題に触れた文章を読む機会を増やし、文章を読んで自分の考えをもったり、図表と文章を結び付けて読解したりする力の向上を目指しています。

詳しくは読売新聞のホームページをご確認ください。↓

<https://kyoiku.yomiuri.co.jp/2024yyomu12P.pdf>

読書時間の確保と本を使った調べ学習

- 朝読書の時間等の本を読む時間を定期的に確保しています。
- 教員の読み聞かせや保護者の方の読み聞かせを通して、様々な本に触れる機会をつくり、読書の幅を広げています。
- 本を使って調べ学習を行い、学んだことをまとめ、表現する学習に取り組めます。